

スポーツ推進

アナ： 「市長が語る 2015 三島」第 11 回の今日は、「スポーツ推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、様々なシーンでスポーツが注目されていますが、三島市ではどのような取り組みをされているのでしょうか。

市長： 「スポーツみしまトップアスリート発掘・育成事業」に取り組んでいます。これは、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、三島市から第一線で活躍するトップアスリートを輩出すべく、NPO 法人三島市体育協会が実施する事業に対して補助を行うものです。

アナ： 具体的にはどのような内容になるのでしょうか。

市長： 内容としましては、トップアスリートによる講演会や、中学校部活動の外部講師の派遣、昨年度開催し好評だった「ちびリンピック」の開催等を計画しているほか、本年度は新たに、小中学生を対象にした基礎体力の向上と、様々な競技種目を体験することができる、子どもたちの能力の開発を目的とした教室の開催を計画しております。

アナ： とても夢のあるお話ですね。

市長： このような取り組みはトップアスリート輩出に加え、「スポーツを通じた人材育成」にも大きな効果が期待でき、リーダーシップをとれる人材が増えていくことにもつながるものと考えています。

アナ： それは楽しみですね。ほかに今年度のスポーツ行政でのトピックはございますか。

市長： 今年度は、スポーツ推進計画の策定を行います。平成 23 年に国のスポーツ振興法が 50 年ぶりに全部改正され、スポーツ基本法が施行されました。この法律では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であると謳われています。

三島市においても、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成 17 年度に策定された三島市スポーツ振興基本計画を全面的に見直し、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れ、平成 28 年度からの 10 年間で計画期間として策定するものです。

生涯を通して市民の皆様がスポーツを楽しんでいただくため、皆様のライフステージに応じてスポーツに親しむ機会を提供していきたいと考えています。

アナ： ライフステージに応じた機会の提供とはどんなイメージなのでしょうか。

市長：　そうですね、市民の皆様が、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを進めるということです。

スポーツは「する人」「観る人」「支える人」と様々な側面を持っています。先ほどのトップアスリートの発掘・育成ももちろんですが、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など「スポーツを観る人」を増やすことは、地域におけるスポーツ人口の裾野を広げます。また、スポーツツーリズムといわれる、スポーツと観光を融合させた取り組みは、外からの交流人口の増加や地域産業の活性化にもつながります。そして、指導者やスポーツボランティアなどの「スポーツを支える人」を育成することは、社会全体でスポーツを支える基盤づくりとなります。

このように「三島市スポーツ推進計画」はスポーツを柱に三島市を多方面から活性化する役割を果たしてくれるものと考えています。

アナ：　スポーツを通して三島市がさらに元気で活力あるまちになることを期待しています。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長：　ありがとうございました。